

国語科学習指導案

- 1 日 時 平成 28 年 6 月 1 日 (水) 第 5 校時
- 2 学 年 第 1 学年 1 組 男子 17 名 女子 4 名
- 3 単元名 ことばあそび
- 4 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領における伝国(1)ウ(ア)「平仮名及び片仮名を読み、書くこと。」が重点指導事項である。また、二つの語の中に共通する音節や文字を見つける活動は、伝国(1)イ(イ)「音節と文字との関係や、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くこと。」とも関連している。言葉遊びを通して、語や文字について関心を高めることを意図しており、これまでに学習してきた平仮名の定着を確認しながら、言葉と出会う喜びを感じさせていくことができる。また、言葉遊びを通して、楽しみながら言葉の力を伸ばすこともできる。

(2) 児童観

本学級の児童は、今、平仮名の読み書きを習得中である。全員が自分の名前を書くことができ、80%の児童が、平仮名を読んだり書いたりすることができる。これまで濁音・半濁音、促音の学習を終え、書くことができる文字の数も多くなってきている。字形や運筆に注意しながら丁寧に書く基本的な姿勢を継続しながら学習を行っている。

これまで「あいうえおのうた」「ふたとぶた」「ねことねっこ」の単元で言葉集めをしてきており、語彙や言葉に対しての興味・関心は高まっている。

(中略)

(3) 指導観

指導にあたっては、しりとりやクロスワードなどの言葉遊びを設定し、仕組みや遊び方を理解させて、楽しく言葉を集めていきたい。はじめに、しりとり遊びをさせる。語尾の文字と語頭の文字に同じ印をつけてしりとりの仕組みを理解させる。学級全体でしりとりの言葉を考えた後、グループでしりとりを考えさせる。言葉を思いつかない児童には、平仮名表の言葉を参考にさせて考えさせる。また、言葉集めの際に挿絵からイメージする言葉をワークシートに書き込んでいく活動も行っておく。

次に、クロスワードに取り組ませる。「クロスワードは重なるます目の文字を考える」「上から下へ、左から右へ読む」ことを押さえて空欄に入る文字を考えさせ、仕組みを理解しながら教科書のクロスワードを解かせる。

最後に、クロスワードを自分たちで作って楽しむ学習を行う。新聞を活用し、写真から言葉を集め、語彙の獲得や拡充をはかる。まず、教師と一緒に写真からイメージする言葉を集めて発表させる。それから新しい写真を与え、個人で言葉集めを行った後、個人で集めた言葉をペアで出し合い、言葉の中の共通の文字を使ってクロスワードを作らせる。その際、言葉を書く力に個人差があるので、教師はペアの活動を回り、助言や支援をしていく。また、思いついた全ての言葉を書く必要はないことを伝える。できたクロスワードは、クイズにして発表させ、他の児童が答えを考えるようにする。できた語を全員で音読し、言葉への関心を深めさせる。

言葉遊びを通じて、条件に合う言葉を集めたり考えたりし、出し合うことによって、使える言葉、知っている言葉を拡充していく。動植物の名前や身の回りの事物の名前から、たくさんの言葉を見つけさせていきたい。そのためにも、そのひらがなを含む言葉と絵が書かれたあいうえおの表を掲示し、言葉集めがしやすい環境を作っておく。児童の語彙量には個人差があると思われるため、言葉集めに困ってしまった場合には、児童どうしで教え合ったりヒントを出し合ったりできるように助言していく。

(4) N I E 活用の意図

語彙の拡充をねらい、言葉集めをするために記事の写真を活用する。クロスワード作りに取り組む前に記事の写真から言葉を連想させ、発表を聞き合う中で新しい言葉を知ることができる。イメージをふくらませることで、写真を言語化でき、語彙力を高めることができる。同じ写真を扱うことで関心を持ちやすく、言語化しやすくなる。全員やグループで友だちと言葉を共有しながら学習することで、生活経験の差をうめることができる。そうして言葉の力を伸ばしながら、しりとりやクロスワードを作ったり、解いたりする喜びを感じると考えた。

5 単元の目標

言葉遊びに興味を持ち、楽しんで取り組んでいる。

【関心・意欲・態度】

言葉遊びの決まりに合った言葉を探して、正しく平仮名で書くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】(1) ウ (ア)

音節と文字の関係を理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】(1) イ (イ)

語のまとまりを意識しながら文字を書くことができる。

【書くこと】(1) ウ

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・技能	書くこと
【単元を貫く言語活動】言葉を探してしりとりやクロスワードパズルの言葉遊びをする。		
言葉遊びに興味を持ち、楽しんで取り組もうとしている。	言葉遊びの決まりに合った言葉を探して、正しく平仮名で書いている。 音節と文字の関係を理解している。	語のまとまりを意識しながら文字を書いている。

7 本単元において育成しようとする資質能力

- 【知識】 言葉遊びの決まりを理解してしりとりやクロスワードパズルで使える言葉、知っている言葉を増やすための知識
- 【スキル】 条件に合った言葉を探して書く力
- 【意欲・態度】 挿絵や写真から言葉を集めて言葉遊びに取り組んでいくチャレンジ精神
- 【価値観・倫理感】 友だちの発表を聴き合い、評価していく自らへの自信
- 【N I E】 写真をもとに知っている言葉を発表したり新しい言葉を知ったりして得られる語彙力

8 指導と評価の計画（全3時間）

次	時	学習内容	評価				
			関・意・態	言語	書く	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	課題の設定 しりとりやクロスワードなどを使って平仮名を学ぶという学習課題を確かめる。 情報の収集 しりとりを楽しみながら、仕組みや解き方を理解する。		○		言葉遊びの決まりに合った言葉を探して、正しく平仮名で書いている。 (発表・ワークシート)	挿絵や写真から言葉を集めてことばあそびに取り組んでいくチャレンジ精神(観察・ノート)
	2	クロスワードを楽しみながら、仕組みや解き方を理解する。		○		言葉遊びの決まりに合った言葉を探して、正しく平仮名で書いている。(行動観察・ワークシート)	町について関心のあるものを調べていこうとするチャレンジ精神(観察・ノート)
	3	整理・分析 写真からイメージした言葉集めをし、自分たちでクロスワードパズルを作る。(本時) N I E まとめ・創造・表現 友だちが作ったクイズを解く。 ふりかえり 単元の学習を振り返る。	○			言葉遊びに興味を持ち、楽しんで取り組もうとしている。 (発表・ワークシート)	挿絵や写真から言葉を集めてことばあそびに取り組んでいくチャレンジ精神(発表・ワークシート)

9 本時の学習

(1) 本時の目標

言葉遊びを楽しみ、語や文字への意識を高めることができる。【関心・意欲・態度】

(2) 観点別評価規準

◎関心・意欲・態度

言葉遊びに興味を持ち、楽しんで取り組んでいる。

(3) 準備物

ワークシート, 新聞記事

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (・) ◆配慮を要する児童への支援	評価規準 教科の指導事項(○) 資質・能力(★) (評価方法) 【NIEで育む力】
導入	考える 1 写真から言葉を集めてことばあそびをすることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスワードパズルの仕組みを思い出させ、自分たちで作る意識を高める。 ・記事の写真を使って言葉集めをしていくことを確認する。 	
	2 本時のめあてを確認する。 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 60%;"> <tr> <td>くろすわあどをつくり，ことばのちからをつけよう。</td> </tr> </table>	くろすわあどをつくり，ことばのちからをつけよう。	
くろすわあどをつくり，ことばのちからをつけよう。			
展開	深める 3 記事の写真からイメージする言葉を発表する。 [一斉]	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に共通の記事写真を掲示し、言葉集めをさせる。 	【ことばの力】 新聞の中から知っている言葉をさがす。 ★ 写真から言葉を集めてことばあそびに取り組んでいくチャレンジ精神 (観察・ワークシート) ○言葉遊びに興味を持ち、楽しんで取り組んでいる。(観察・ワークシート)
	4 新しい写真から思いつく言葉を考えて書いた後、ペアで出し合い、クロスワードパズルを作る。 [個人→ペア]	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えて出てきた語はワークシートに書いていかせる。机間指導をし、助言を行う。 ◆言葉が思い浮かばない児童には、教師がいっしょに考え、例になる言葉を与えて選べるようにする。 ・自分たちで語をつないでクロスワードを作らせる。できたものをクイズとして発表させ、他の児童が答えを考えるようにする。 ・まず目に作ることが難しい場合は、語となるところを太い線で囲んでよいこととする。 	
	5 友だちが考えたクロスワードパズルのクイズを解く。 [一斉]	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのペアにどんな語でクロスワードパズルをつくったか発表させる。どんな語をまず目に入れたらよいかクラス全員で考え、全体で共有していく。 ・できた語を全員で音読し、言葉への関心を深めさせる。 	

まとめ	まとめる 6本時の学習を振り返る。	
	児童のまとめ例 ・ひとつのしゃしんからいろいろなことばをあつめることができた。 ・おなじじをさがして、たのしいくろすわあどができた。 ・くろすわあどをかんがえるのも、つくるのもたのしくできた。	
	見通す 5今後の学習の見通しを持つ。	・今後の学習では、つなぎ言葉を使って文を書きいていくことを伝える。

(5) 板書計画

まとめ ・ひとつのしゃしんからいろいろなことばをあつめることができた。 ・おなじじをさがして、たのしいくろすわあどができた。 ・くろすわあどをかんがえるのも、つくるのもたのしく	<table border="1"> <tr><td>ひ</td><td>と</td></tr> <tr><td></td><td>ぶ</td></tr> </table>	ひ	と		ぶ	くろすわあど	<table border="1"> <tr><td>記事の写真</td></tr> </table>	記事の写真	<table border="1"> <tr><td>記事の写真</td></tr> </table>	記事の写真	めあて ことばあそび くろすわあどをつくり、ことばのちからをつけよう		
ひ	と												
	ぶ												
記事の写真													
記事の写真													
	<table border="1"> <tr><td>な</td></tr> <tr><td>の</td></tr> <tr><td>は</td></tr> <tr><td>な</td><td>げ</td><td>る</td></tr> </table>	な	の	は	な	げ	る		<table border="1"> <tr><td>記事の写真</td></tr> </table>	記事の写真	<table border="1"> <tr><td>記事の写真</td></tr> </table>	記事の写真	
な													
の													
は													
な	げ	る											
記事の写真													
記事の写真													